西沢渓谷～牛首ノタル山行報告　(5 月平日山行)

（山　　域）　　奥秩父

(コース）　　西沢渓谷⇒牛首ノタル(黒金山直下)⇒青笹集落

（登山方法）　ハイキング(前夜仮泊)

（山 行 日）平成 28 年 5 月 25 日(水)

（天　　候）曇り

（参加者）　CL 辻本喜代志石橋きよみ澤田路子上茂美砂子今泉敏男 八十木盈孝 篠塚勇(記録)
大野(会員外)　　計 8 名

（山行タイム）　西沢渓谷入口発 7:10⇒西沢渓谷探勝⇒黒金山登山口(西沢渓谷終点)9:10⇒
紅葉台 10:10⇒2021m コル 11:20⇒牛首ノタル 12:30⇒青笹集落着 15:20⇒
三富温泉入浴⇒勝沼 IC 中央道⇒談合坂 SA(食事)⇒ 幕張 IC⇒帰葉 20:00

（山行報告）

前日の深夜に道の駅みとみに到着。新入会員 2 名(八十木･篠塚)の教習も兼ねテント 2 張の設営し、しばし四方山話で歓談後 1:00 就寝した。

明けて２５日 5:30 起床。山梨の親戚に滞在中の今泉さんと、千葉からの大野さんと合流。下山口に車 1 台をデポし、西沢渓谷市営駐車場に移動した。

ラジオ体操後、目的地の一つ、新緑の西沢渓谷探勝へ、7:10 皆元気に出発した。

いざ出発

西沢渓谷入口の案内板

大久保の滝

三重の滝

ゴルジュを覗く二人

竜神の滝

瑞々しい新緑、白く輝く激流、青く深い釜。渓谷は訪問者を飽きさせない。変化のある遊歩道を堪能しながら、三重の滝、竜神の滝を過ぎ、西沢渓谷のハイライト、七ツ釜五段の滝で渓谷を離れる。

長い階段(楽しみしていた吾妻シャクナゲが見え始めるが、この付近は花のピークは過ぎていた)登り切り、西沢渓谷終点 黒金山登山口に 9:10 到着した。(標高 1400m)

小休止後に本格登山開始。最高点(約 2000m)まで永延と続くシャクナゲ大群生林トンネルの急坂を喘ぎ喘ぎ約 1 時間登り、甲武信岳方面に展望が開けた紅葉台(標高 1770m)に着く。ここで CL 辻本さんのルートファインディングの実地講習(他の 2 地点でも実施)があり。

本山行の最高点 2021m コルを目指し、再び登山を開始し 11:20 着く。

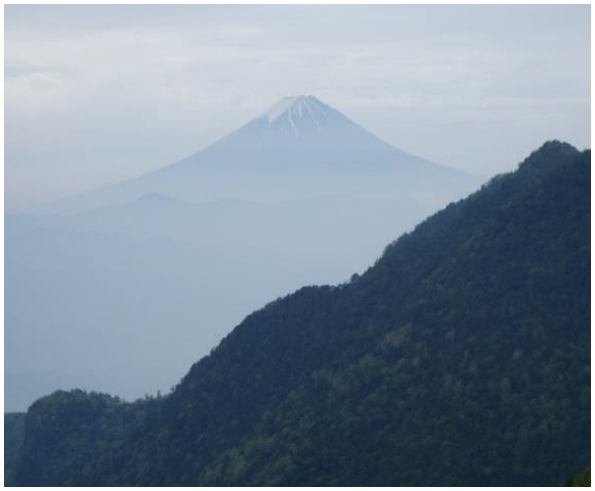
七ッ釜五段の滝

急登の中のシャクナゲ

2021m ピーク下で昼食

少し早目の昼食をすませ、この付近で今が盛りの薄いピンク色したシャクナゲの花に大感動しながら、多少のアップダウンはあるがコルと同高度の牛首ノタルへ快調に歩を進め 12:30 に着く。
下山の時間・疲労度等を考え辻本 CL の事前判断で、黒金山頂上へ標高差 200m のピストンは断念した。
ここは今回山行で唯一の無樹林地で南方面へ展望が開け、残雪の富士山や霞みのかかった山々を遠望でき、長めの休憩を取る。
今日は太陽の恵もなく、体を休めると少しヒンヤリして、皆さん上着をもう 1 枚着込む。

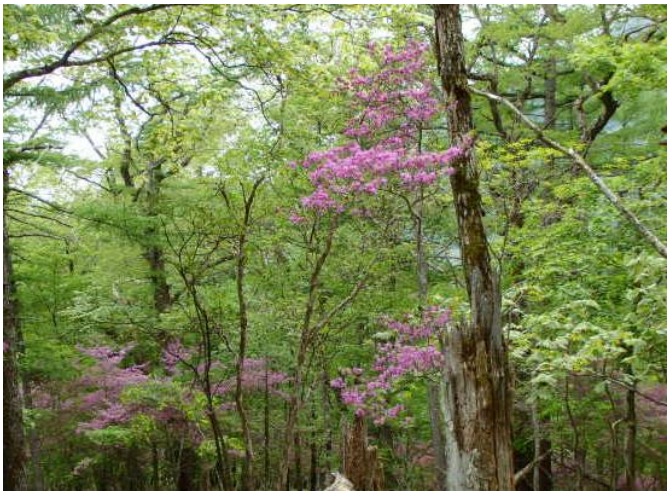
シャクナゲに見取れる一同


残雪の富士山

牛首のタルにて
後方に富士山･手前右が乾徳山方面

富士山をバックに記念写真を撮り、13:00 に下山開始。すぐに樹林帯の下に見渡す限り笹原が 1700m 付近まで広がり、爽快な山歩きが続き「いいところだね」の声もアチコチから。
少し下がり 1600m 付近では、予想もしていなかった満開の三葉ツツジの大群生が 500m 位続き、皆「キレイキレイ」の大合唱である。

満開のヤマツツジ


ミツバツツジの大群落

牛首のタルを一時間ほど下り、林道に出る。暫し休息後、再び青笹集落を目指し下山開始。驚いたことに林道下の登山道は、道標は殆んどなく微かな踏跡だけで、コンパスや GPS で方位を確認して慎重に歩を進めた。標高が下がると道標も増え始め、暫らくすると家屋が見えてきた。15:20 青笹集落に皆さんケガもなく無事に下山した。(標高 1000m)　当初計画のバス移動の時刻は 1 時間先なので、車をデポして正解だった。車を回収し天科バス停付近で、解散式となる。
今泉さんと大野さんと別れ、近くの温泉旅館で汗を流し、談合坂 SA で食事をとり、20:00 頃千葉駅に到着した。

振り返って私の感想は、4 月に入会して初めての会主催の山行に参加させて頂きました。
今まで単独での車中仮眠や山小屋泊まりだったので、テントの設営･宿泊･撤去とルートファインディングの実習は大変勉強なりました。更に、この時期ならではの満開のシャクナゲとツツジの大群生と斜面一面の笹原の景観と天候に恵まれて充実した山行でした。
辻本 CL はじめ皆さんに大変お世話になりました。有難うございました。

以上